

丹波篠山市立今田中学校
校長 田端 俊典

丹波篠山市立今田中学校 学習や生活に関する学力向上プラン

丹波篠山市学力・学習状況調査及び全国学力・学習状況調査は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。

本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえつつ、結果をもとに授業改善等を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、学校の教育活動に対して支援いただければありがたいと思います。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要

○国語科：どの観点も全国平均や市平均とほぼ同等であり、おおむね良好でした。特に「漢字の読み書き」や「文法・語句」の項目では目標値や全国平均を大きく上回る結果でした。ただし「自分で考えて文章表現する」ことや「文学作品の人物の心情を考える」などの項目の正答率が低かったです。

○数学科：全国・市町村平均ともにどの観点も大幅に上回っています。特に、図形（平面図形・空間図形）領域においては市町村平均を10ポイント以上、上回っています。基礎問題の定着に比べ、活用問題の正答率がやや低かったように感じます。

○生活状況調査：「自己認識」「社会性」「学級環境」「生活・学習習慣」の4つのカテゴリーのすべての項目において、全国平均を上回る結果でした。その中でも特に「友だちのささえ」「規範意識」「学級の絆」は高いポイントを示しています。このことから、学級の規律は守られ、お互い思いやりを持って接し、落ち着いた学習環境のもとで日々の活動が行われているといえます。これは、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちに働きかけてきた成果だと考えています。

課題および今後の学力・生活習慣向上方策

○国語科：文学的作品の心情が読み取りにくかったため、言葉どおりではない行間の表現や情景描写、場面状況に注目して、文学的文章を読んでいきたいと思えます。作文に関しては、「自分の考えをまとめ、構成してから書く」ことが苦手な生徒が多いため、単元が終わるごとに短い感想文や、内容と関連づけた作文を書かせたいと思えます。その中で、書く習慣をつけ、条件作文の書き方などを学び、自分の考えを文章表現する力を身につけさせたいと考えています。

○数学科：1年間の学習がしっかりと定着していることが分かりました。今後も少人数指導を通して基礎基本の定着を図っていきます。活用問題については、章末問題で生徒たちが説明する機会を増やしたり、理由や根拠を問い返したりすることで、力を伸ばしていきたいと思えます。

○生活状況調査：「充実感と向上心」「対人ストレス」に関しては、全国平均をわずかに上回っていますが、他の項目に比べると低い傾向にあります。日々の学習や行事を通して、達成感を味わえるよう目標に向けて努力する力を育てていきたいと思えます。また、幼少の頃から同じ集団の中で安心して過ごせる反面、自分の気持ちを伝えることを苦手と感じている生徒も見受けられます。日頃から生徒の様子を見守り、定期的な教育相談を行ったり、必要に応じてスクールカウンセラーとの面談を行ったりしながら、生徒に寄り添い、さらに充実した学校生活を送れるよう働きかけていきたいと思えます。

保護者の皆様へ お知らせとお願い

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習のあり方や生活習慣について、指導・支援方法を検証し、取り組みを充実していきます。2年生後半からは、キャリア教育の一環として、進路学習が始まります。ご家庭におかれましても、進路や将来に関して話をする機会を持っていただき、学校と連携しながら、子どもを支えていきますよう、ご協力をお願いいたします。